【消費生活の窓口から】

5月は消費者月間です

全国統一テーマ

「考えよう！大人になるとできること、気を付けること～18歳から大人に～」

2022年4月から、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。未成年者が親権者等の同意を得ずに契約した場合には、民法で定められた未成年者取消権によってその契約を取り消すことができますが、成年になって結んだ契約は未成年者取消権の行使ができなくなります。

全国で寄せられている相談をみると、20歳代の相談件数は未成年者と比べて多く、その契約金額も高額です。未成年者にはあまりみられなかった「エステティックサービス」や「医療サービス」などの美容に関する相談や「内職・副業その他」、「ファンド型投資商品」などのもうけ話に関するトラブルが多く寄せられています。こうしたトラブルに成年になったばかりの18歳・19歳も巻き込まれるおそれがありますので、注意が必要です。

【アドバイス】

- ◆軽い気持ちで契約しないようにしましょう。
- ◆うまい話に飛びつかないようにしましょう。
- ◆ネットの情報に流されないようにしましょう。
- ◆契約をせかす者は相手にしないようにしましょう。
- ◆借金をしてまで契約しないようにしましょう。
- ◆きっぱり断ることも勇気です！
- ◆困った時は、一人で悩まず、消費生活相談窓口か消費者ホットライン188（局番なし）^{いやや}に相談しましょう。

※詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

・消費者庁ホームページ「[令和4年度消費者月間](#)」

「[18歳から大人](#)」特設ページ」

・国民生活センターホームページ「[若者の消費者トラブル](#)」

「18歳から“大人” 18歳・19歳に気を付けてほしい

[消費者トラブル 最新10選](#)」

※ご相談・お問い合わせ先

中山町消費生活相談窓口（住民税務課 住民G内） ☎662-2593